



平成 23 年 4 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所  
(コード番号: 4570)  
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091-1  
代 表 者 代表取締役社長 清藤 勉  
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 木下 憲明  
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)  
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

## 「中期経営計画」の見直しについて

当社は、平成 21 年 10 月 26 日に中期経営計画を策定し、平成 22 年 10 月 22 日に直近の修正を加えましたが、平成 23 年 4 月 6 日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をふまえ、本日開催の取締役会において、中期経営計画を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 修正の理由

平成 23 年 3 月期における業績予想は、既に公表（平成 23 年 4 月 6 日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」参照）しましたように、自社開発製品の開発・製造及び販売が順調に推移するとともに、企業構造の再構築が確実に実行できたことにより、下期において黒字に転換し、通期の営業キャッシュ・フローにおいても黒字になる予定であり、平成 22 年 10 月 22 日に公表の「中期経営計画」を 1 年前倒しで達成することが出来る予定です。

今後は、研究開発型企業としての基盤技術の強化と魅力ある新製品の継続上市及び新製品を生み出す環境の整備を行い、国内外の販売体制を強化してまいります。そして将来への医薬シーズ開発へ集中していく所存であります。

そのため当社は、下記のとおり経営重点施策を見直し、収益力の更なる強化を図り現「中期経営計画」について再構築を行いました。

#### 2. 今後の主な重点施策の要点

- (1) 自社開発製品販売において、国内外の販売強化を目的とする他社との業務提携を積極的に行い、国内外における市場での評価が高い当社製品の販売網を整理・拡大し、自社ブランドの抗体製品やキット製品の国内外の販売増に注力してまいります。
- (2) 研究開発および商品開発において、当社の強みであるアルツハイマー病、がん及び炎症、糖及び脂質代謝関連疾患の領域に有用な技術や知見を有する、他のバイオベンチャー企業と積極的に提携し、診断や治療への応用を視野に入れた新製品開発を集中して推進してまいります。
- (3) 遺伝子組換えカイコによる抗体生産技術を早期に確立し、自社抗体製品の生産効率を飛躍的に改善していく所存であります。また、研究用試薬、診断薬原料などへの販売に向けた実用化、さらに将来に向けてカイコによる抗体医薬品への挑戦をしていく所存であります。

### 3. 経営指標

〈平成 22 年 10 月 22 日発表の中期経営計画〉

(単位：百万円)

	2009年 3月期 実績	2010年 3月期 実績	2011年 3月期 計画	2012年 3月期 計画	2013年 3月期 計画
売上高	1,036	1,059	1,020	830	880
(研究用試薬関連)	(563)	(537)	(610)	(660)	(700)
(実験動物関連)	(359)	(369)	(240)	-	-
(医薬関連・他)	(114)	(150)	(170)	(170)	(180)
売上原価	576	558	500	380	340
販管費	842	686	680	550	530
営業利益	382	185	160	100	10
			タコニック社との契約9/未終了	・重点追加施策の実行により、人件費、コスト低減 ・営業 C/F 黒字化を目指す	・カイコ事業による製造費低減 ・カイコ事業を含む自社開発製品の売上増 ・営業利益黒字化を目指す

〈修正中期経営計画〉

(単位：百万円)

	2009年 3月期 実績	2010年 3月期 実績	2011年 3月期 修正発表	2012年 3月期 計画	2013年 3月期 計画	2014年 3月期 計画
売上高	1,036	1,059	1,060	910	1,025	1,200
(研究用試薬関連)	(563)	(537)	(630)	(746)	(910)	(1,035)
(実験動物関連)	(359)	(369)	(260)	-	-	-
(医薬関連・他)	(114)	(150)	(170)	(164)	(115)	(165)
売上原価	576	558	495	327	325	360
販管費	842	686	650	573	550	600
営業利益	382	185	85	10	150	240
			・タコニック社との契約9/未終了 ・自社製品の販売増 ・人件費、コスト低減 ・営業 C/F 黒字化を予定	・自社製品の販売増で粗利益率の向上 ・他社との業務提携の推進 ・人件費、コスト低減 ・営業利益黒字化を目指す	・他社との業務提携により国内外の販売網の拡大 ・カイコ事業を含む自社開発製品の売上増 ・カイコ事業による製造費低減 ・抗体医薬ライセンスの導出を目指す(上記数値未算入) ・早期の配当を目指す	

\* 2011年3月期計画の経営指標は、平成23年4月6日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました。

\* 本「中期経営計画」は現時点で入手可能な情報に基づき策定したものであり、今後の事業環境などさまざまな要因によって、実際の業績はこの「中期経営計画」の数値目標と異なる可能性があります。

\* 2012年3月期計画、2013年3月期計画及び2014年3月期計画における実験動物関連の売上高は、僅少なため研究用試薬関連に含めて記載しております。

以 上